



2021.6.5 聖体礼拝（毎週土曜日午後4時より）

神は愛である 主任司祭パウロ・フィラデル
フィ

南山教会の皆さん、6月にはキリストの聖体とイエスのみ心の祭日、また聖母のみ心の記念があります。イエス・キリストは「これをとって食べなさい。これはあなたがたのために渡される、わたしのからだである」という言葉を語り、自分ご自身を私たちに与えてください、人間の私たちに想像できない限り愛を現わしてください。さらにイエス様とマリア様の愛の呼びかけに応えることによって、この愛にあずかることができます。皆さん、神様が現わしてください。愛はどれほど大事なものと想像できますか。また例えば現代的な表現を使つて、愛というものについて話すことができますでしょうか。そのヒントになればと少し長くなりますが、アルベルト・アインシュタインが娘へ宛てた手紙を皆さんに紹介させていただきます。と思います。

『私が相対性理論を提案したときごく少数の者しか私を理解しなかったが私が人類に伝えるために今明かそうとしているものも世界中の誤解と偏見にぶつかるだろう。必要に応じて何年でも何十年でも私が下に説明することを社会が受け容れられるほど進歩するまでお前にこの手紙を守ってもらいたい。現段階では科学がその正式な説明を発見していないある極めて強力な力がある。それは他のすべてを含みかつ支配する力であり宇宙で作用しているどんな現象の背後

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時（ミサ前、午後4時 聖体礼拝）
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

にも存在ししかも私たちによってまだ特定されていない。この宇宙的な力は愛だ。科学者が宇宙の統一理論を予期したとき彼らはこの最も強力な見知らぬ力を忘れた。愛は光だ。それは愛を与えかつ受け取る者を啓発する。愛は引力だ。なぜならある人々が別の人々に惹きつけられるようにするからだ。愛は力だ。なぜならそれは私たちが持つ最善のものを増殖させ人類が盲目の身勝手さのなかで絶滅するのを許さないからだ。愛は展開し、開示する。愛のために私たちは生き、また死ぬ。愛は神であり、神は愛だ。この力はあらゆるものを説明し生命に意味を与える。これこそが私たちがあまりにも長く無視してきた変数だ。それは恐らく愛こそが人間が意志で駆動することを学んでいない宇宙の中の唯一のエネルギーであるため私たちが愛を恐れているからだだろう。愛に視認性を与えるため私は自分の最も有名な方程式で単純な代用品を作った。[E = mc²]の代わりに私たちが次のことを承認する。世界を癒すエネルギーは光

速の²乗で増殖する愛によって獲得することができ愛には限界がないため愛こそが存在する最大の力であるという結論に至った。私たちが裏切る結果に終わった宇宙の他の諸力の利用と制御に人類が失敗した今私たちが他の種類のエネルギーで自分たちを養うのは急を要する。もし私たちが自分たちの種の存続を望むならもし私たちが生命の意味を発見するつもりならもし私たちがこの世界とそこに居住いのなら愛こそが唯一のその答えだ。恐らく私たちにはまだこの惑星を荒廃させる憎しみと身勝手さと貪欲を完全に破壊できる強力な装置愛の爆弾を作る準備はできていない。しかし、それぞれ個人は自分のなかに小さなしかし強力な愛の発電機をもっておりそのエネルギーは解放されるのを待っている。私たちがこの宇宙的エネルギーを与えかつ受け取ることを学ぶとき愛しいリーゼル私たちは愛がすべてに打ち勝ち愛には何もかもすべてを超越する能力があることを確信しているだろう。な

ぜなら愛こそが生命の神髄だからだ。私は自分のハートの中心にあるものを表現できなかったことを深く悔やんでおりそれが私の全人生を静かに打ちのめしてきた。恐らく謝罪するには遅すぎるが時間は相対的なものだから私がお前を愛しておりお前のお陰で私が究極の答えに到達したことをお前に告げる必要があるのだ。

お前の父親アルベルト・
アインシュタイン』

典礼一口メモ く香部屋の窓からく
第41回 「ノヴェナ」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

ですが、その前に……
毎号、楽しみに読んでくださっている皆様にお詫びがあります。

前回の記事に編集段階での誤植を見つけてしまいました。月報なんざんNo.679(つまり5月号)5ページの2段目、2行目から4行目にかけて「主任司祭の最終確認の段階で本人の氏名と堅信名に……」と誤って記載されていますが、正しくは「主

任司祭による最終的な確認の折、リストの堅信名に……」です。1か月前の話で恐縮ですが、謹んで読み替えをお願い申し上げます。

ノヴェナという信心業があります。ノベナとも書きますが私はラテン語の Novem を尊重してヴと表記します。(づ) なのかず、なのかみたいな細かい話で恐縮です。(十七世紀にキリスト教で始まった信心業で、神が恵みを与えてくれるように願うこと、または、聖母や聖人など特定の崇敬対象に対して神への執り成しをしてくれるよう願うことで9日間に渡り連続して行います。これらの特徴を持った祈禱の信心業です。これは個人的な祈禱や、共同体での祈禱があります。ラテン語の「9つ」の意味する形容詞に由来します。そのため日本ではその訳として「9日間の祈り」「9日祈禱」「9日特禱」が充てられています。連続して9日間祈ることを意味します。ノヴェナはカトリック

教会だけではなく聖公会、東方正教会、プロテスタントのルター派教会によって行われているようです。

です。そこで聖アウグスティヌスなどのカトリックの著作家たちは、この古い習慣を真似しないように警告しています。

ノヴェナの歴史ですが、**新約聖書**の記述を以下のように解釈した結果と言われています。イエス様が昇天された日(使徒言行録第1章9節)と聖霊降臨の日(同2:4)の間は9日間であると考えられています。そしてこの間、弟子たちは祈り続けていた。それは同第1章14節に「心を合わせて熱心に祈っていた。」と記載されていることによります。聖職者や上流階級で死者が出た時に、9日間のミサを開くという古い習慣があったそうです。この習慣自体は初期のギリシャ・ローマ時代の家庭で行われていたものの模倣だと考えられています。これは死者が出た時、その翌日からの9日間喪に服し、その後、御馳走を食べる。というもので、ノヴェナの実施は古い習慣の影響を受けていたとする考えもあるよう

カトリック教会の信徒たちは、やがて、9という数字について、異教徒の風習を結びつけて考えることは少なくなり、イエス様が子宮に宿っていた約9カ月間、とか、イエス様が9時に十字架上で息を引き取ったことや12使徒がマリア様と共に9日間「二階の部屋」に籠って祈り続け、聖霊が彼らに降臨したことなどの結び付きを強調し始めたといえます。新約聖書の中に書かれている出来事として、しばしば使徒言行録の1章12節から2章5節が引用されます。キリスト教の教父たちも9という数字に特別な意味を割り当てています。それは9という数字が、神に向き祈っている人間の不完全さを象徴している数字だと見做したものでした。これは、10を完璧な数字の象徴、神の完全さを意味す

るものと考えて、それに1足りないのが9であることから来ています。これらの事柄は、始めにキリスト教の葬儀に影響し、その後続いて、キリスト教の祈祷へ影響を及ぼしたといわれています。ご存じのように南山教会でも2021年から教会の公式の行事として神のいつくしみの主日に向けてのノヴェナを始めました。ともにお祈りいたしました。その場所に一緒に参加できなくても同じ時に心を合わせてくださいだけでも大いに意義があります。



2020年度 運営委員会活動について 運営委員長 森 直樹

南山教会運営委員会は、当小教区の信者を代表し、主任司祭の諮問機関として小教区の運営、行事、活動などについて計画を立て、教会共同体の中で奉仕の分担を行うものであります。

運営委員会は8月を除く毎月第1日曜日11時より開催しております。

本運営委員会は、司祭団と各種団体、委員会の集合体であり、各会よりの報告事項を共有し、相談事項・行事その他について審議いたします。運営委員長は全体のまとめを行います。副運営委員長は2名で例年通りヨセフ会会長・マリア会会長が兼任担当いたしました。

議題は名古屋教区の年間スケジュールと南山教会の年間スケジュールに沿って運営委員長が

が立案します。さらに下記の委員会・活動団体が、それぞれの活動の中で運営委員会に諮る事項が生じた時に主任司祭・運営委員長に相談し、議題として挙げるができます。

2020年度は新任の主任司祭としてパウロ神父様、助任司祭のヒ神父様、新助任司祭の伴神父様の3名の司祭団の体制であり、大学院で勉強をしておられるマーティン神父様が協力して私たち信徒の司牧にあたってくださいました。

昨年度2020年はCOVID-19の為の緊急事態宣言の中、幕を開けました。

その後も感染拡大・収束を繰り返して今日に至っております。

そのような状態の中、運営委員会の活動において、皆様が安心して教会に来ることができるようになるため、「教会の活動・行事を行うか否か?」、「行うとすればどのようなように行うか?」、「コロナウイルス感染症対策をどのように行うか?」について審

議し、皆様の協力を頂き実行してまいりました。

○中止となったミサ・主な行事

5月：教会美化、インターナショナルミサ。

6月：信者全体集会(10月に延期)。

9月：敬老会病者の塗油は通常のミサにて行われました。

10月：教会、バザー

○行われたミサ・教会行事と対策の概要

8月：平和旬間の行事として第12回平和祈念の集いが、人数制限により密を回避し行われました。

10月17日 信者全体集会、密を回避するため大聖堂にて行い時間を短縮して行いました。

10月25日 教会美化、通常の清掃のみ行い、バーベキューなどの分かち合いは中止とした。(お持ち帰り用のおにぎりと飲み物を用意しました。)

12月24・25日 降誕祭ミサ：回数を増やし、各ミサを一部予約制とし、人数制限を行いました。

4月2日 復活徹夜祭ミサ：応募者を募り、抽選を行い、完全予約制にて行いました。

ミサに与れない方の為にミサのユーチューブ配信を行いました。

4月3日 復活祭ミサ：8時・9時半・11時・18時の各ミサで分散を呼び掛け、人数制限を行い対応しました。

現在活動している委員会名・活動団体名を、下記に示します。

本会(運営委員会)は典礼・広報・財務・宮繕・納骨堂管理・オルガン管理の各委員会を設け活動グループの意見を徴するなど小教区共同体で組織されています。

南山教会に属する次のグループも運営委員会に参加しています。

典礼奉仕の会、子ども部屋、教

会学校、中高生会、青年会、レジオ・マリエ、大樹の会(休会)

中、英語のミサグループ、手話の会、要約筆記の会、宣司評・信徒協への派遣委員、バザー委員会。

なお教区一粒会の委員は前年に続き例外的に前期運営委員長に務めていただきました。

2020年度ヨセフ会の活動について

ヨセフ会

2020年度初頭には、日本政府より、コロナ感染に対する緊急措置がなされており、少なくとも5月6日までは、教会は公開ミサの中止、信徒の教会への訪問も二密にならないように厳しく制限されていました。

名古屋教区では、数回にわたる松浦司教様からのメッセージを下に9月まで、いくつかの活動を制限してまいりました。10月以降も新型コロナの影響が大きく、バザーの中止等、教会活

等、教会活動には種々の制限がありました。

ヨセフ会の活動のほとんどが例年の活動がほとんどできなく、ミサ案内係は、ごミサでの体温調査、マスク着用の確認、ごミサへの人数制限とその把握に終始しました。また、ごミサへの参加人数制限のため、主日には、11時のごミサが追加され、現在に至っております。

特に、後半のクリスマスでは、ごミサへの参加人数の平準化が必要となり、参加時間の仕分けするために信者の皆さんに応募をお願いしたり、復活徹夜祭では、抽選で参加人数を制限したりするようなご奉仕をいたしました。本来の教会活動の分ち合いができない一年であつたと思います。

来る2021年度は、コロナが早く終息するようにお祈りをし、主任神父様の下、よりよいご奉仕ができるように考えております。次年度は、本年度と変わらない陣容で、まいります。

2021年度の役員

・会長：神戸六郎 ・副会長：成井元太 ・会計：書記：戸野部光

・信徒協委員：濱口吉宏、神戸六郎

②2021年度の班長

・1班：小塚充雄 ・2班：松田征雄 ・3班：玉田恭彦 ・4班：倉井三吉 ・5班：神戸六郎
・6班：濱口吉宏 ・7班：成井元太 ・8班：安井達

③活動できるメンバーが少ない。(ヨセフ会名簿参照)

信徒の高齢化と仕事のために、活動できるメンバーが固定化している。新メンバーは募集しており、それなりの成果を上げてはいますが、やはり、ご奉仕できる人は限られています。本年度の新受洗者は、5名、そのうち3名が男子ですので、この中から新入会できる人を募ってまいりたいと思います。

④班編成を変更して、メンバーの平準化を図る。(役員信徒協に関する覚書参照)

前任の会長さんの努力により、今年は活動の形態を変更する。本年は、テストケースで5班・6班を合同班として活動を行う。不具合点を班長会で、話し合い、その都度検討を行い活動に反映させる。

⑤班長会について

班長会は、運営委員会の次の週に開催し、運営委員会の意向をフォローし、かつ、教会の日程に沿った形で、奉仕活動に参加する。班長会には本年度より、神父様の参加がかなえられた。以上

2020年度 典礼奉仕者の会

活動報告

2020年度ではCOVID-19の影響では公開ミサが一時休み(4月5月、8月8日〜8月28日)となりました。対策のために11時ミサが増設されました。典礼を通じて教会全般の霊的向上に寄与するために、集會司式者、進行係、先唱奉仕者、朗読

奉仕者、侍者、聖歌隊、オルガニスト、案内係、香部屋係の奉仕者や奉仕グループが主日ミサや聖週間等の中で可能な限り奉仕しています。

典礼奉仕者の会では典礼委員会と連携して活動しておりますが、一年に一度の「典礼奉仕者全体集會」を開催しております。11時ミサも増設されたこともあり、2020年10月11日(日) 10時30

分より典礼奉仕者全体集會(主任司祭による典礼奉仕に関する小講話とそれに続く11時ミサを典礼奉仕者感謝ミサ)ということで開催いたしました。

その他、典礼委員会の呼びかけに応じて活動を行っております。

「2020年度の典礼奉仕活動グループによる報告」

1. オルガニスト 活動報告
報告者：典礼委員 西田尚美

*新型コロナウイルス・ウィルスの影響により、4・5月はミサなし。

*6月からの再開後は6名のオルガニストで主日・祝祭日・初金ミサのオルガンご奉仕。

*結婚式は4名、葬儀関連は3名を基本にご奉仕体制を整えている。

*その他、特別な日のためのミサについても教会からの依頼に応じてミサご奉仕。

新型コロナウイルス対策をとつてのミサにより、ミサ回数が増え、歌えないミサをオルガン曲で対応となり、オルガニストは皆これまでとは異なるミサ準備を行う一年であつたと思われまます。個々の負担が大きくなりすぎないよう、随時メールで情報を共有しながら、一月にはオルガニストの会を行い、お互いのご奉仕状況の確認や話し合いが行われました。南山教会(2:00)7名、18時5名、日英合同(1名)。

い環境を整えて向き合いたいと考えております。

2. 侍者団活動報告／報告

者・典礼委員長 新内飛鳥

公開される全ての主日の9時

30分、11時ミサおよび聖なる過ぎ越しの3日間の典礼

クリスマスイブのミサ、追悼

ミサ他などで奉仕。

3. 進行係活動報告／報告

者・典礼委員 宮本佳幸

○主に、大聖堂でささげられる主日のミサ(開祭時刻・土

曜日 17時、日曜日 8時・

9時30分・11時・18時)で

ご奉仕しています。

○他に、共同回心式(待降

節)、主の降誕、年末感謝ミ

サ、神の母聖マリア、灰の水

曜日、東日本大震災犠牲者追

悼ミサ、四旬節黙想会、また

聖体礼拝等でご奉仕。

○2021年3月末現在、

メンバーは23人(17時6名

名、8時4名、9時30分

名、18時5名、日

英合同(1名)。

○典礼が滞りなく執り行われるように、司祭を補助し、必要とされる案内・説明、また連絡事項(お知らせ等)のアナウンスをしています。

また、典礼前の準備や後片付け、献金の責任者等、様々なご奉仕をしています。

4. 聖歌隊活動報告／報告者:

典礼委員 吉田雅子

聖歌隊員数30名

「活動目標と方針」は、以下の

ようですが、今年度は新型コロナ

感染拡大により、聖歌隊と

しての活動は、一度も行われま

せんでした。早く収束しますよ

うに。

「活動目標と方針」

聖歌隊の役割を理解し、会衆の

歌唱を支え、会衆の祈りの助け

となるよう毎日曜日のミサの準備

をしつかりと行い奉仕する。

また、そのための練習を行う。

また、葬儀に関しては以下の通り

です。

緊急事態宣言発令で、歌唱奉

仕はできませんでした。

4月から6月1日まででは、ご遺族・ご親族様と葬儀奉仕のみでとりおこなわれました。

その後、教会からの要請で、オルガニストと進行係のみでご奉仕させていただきました。

聖歌隊の進行係として担当した件数は、以下の通りです。

大聖堂 9件

ヨセフ館 4件

また、出張特殊葬儀として

愛昇殿藤ヶ丘クレスト1件

現時点で合計 14件担当しました。

5. 先唱・朗読奉仕者活動報告

報告者:典礼委員 伊澤美由紀

○主に大聖堂で捧げられる主日ミサで奉仕しています。

○メンバーは先唱奉仕者 20人

朗読奉仕者 28人。(2021

年3月現在、人数外:英語ミサ

グループと中高生会)

○上記以外での奉仕。

主の降誕、旧年感謝ミサ(12

31 10時)、灰の水曜日(2

17 10時と19時)、東日本大震

災犠牲者追悼・復興祈願ミサ
(3) 11 14 時 30 分)

○先唱奉仕者はマリア会の依頼により初金ミサでの先唱奉仕も行なっています。

○朗読奉仕者は神の御言葉を伝えることを意識して、先唱奉仕者は祈りの導き手であることを意識して、奉仕に臨んでいます。

COVID-19 の影響で社会的にも環境が変わる中、奉仕にご協力いただきまして心より感謝しております。又、皆様からのご協力とお祈りにも感謝申し上げます。1日も早く収束さからもキリストにならない、父なる神様へこころを合わせて、お互いに仕え合い歩んでいきたいと思います。神に感謝。神に賛美。

「聖体の奇跡国際展示会

(平針教会にて)

毎回、南山教会のパネル展示に足繁く通って下さっている平針教会に所属のある信者の方から、私たちの教会でも展示会を開催できないか、とのご相談がきっかけで、平針教会の主任司祭、信徒会にご審議頂き、福者カルロ・アクティスによる奇跡の国際展示会のパネル展示にご賛同頂くことができました。

5月15日から同教会でも展示会が開催されています。

先月の膳棚教会に続いて三つ目の小教区の開催になります。設営の準備の中で、平針教会の方々と、とても素晴らしい分かち合いの時間を共有することができました。

福者カルロ・アクティスの取次ぎに感謝致します。

この展示会を通して一人でも多くの方々に「聖体への信仰を深めて頂けたら、これ以上の喜びはありません。

(広報委員会)



教会学校の子供達のお祈り

ヨセフ年における

聖家族のご像巡回中

南山句会

新型コロナウイルスが
収束するまで休会します。



イエス様は、私たちにごく平凡な母親を下さったのではありません。この母親は神の御子のために形づくられたお方だったのです。その御心は完全なる清さをもっておられます。神への愛をもった清らかな御心。その御心を満たしているのは、神をどうお喜ばせし、どうお仕えしたらいいか、ということだけでした。

主イエス様は天から降られ、母マリア様とともに暮しになりました。それは再び天国に入るようなことでした。その喜びはそれほど大きなものでした。母マリア様とともにいるということは、とてつもなく大きなことだったのです。マリア様の御心には聖性だけがありました。天のお父様への愛のうちに生きるということだけがそこにありました。

マイケル・ゴードラン神父
(英国における司祭の
マリア運動責任者)

信者の消息

受洗

おめでとうございます

マリア 伊藤 美智子

結婚

♡ お幸せに ♡

5/23 安藤 実 ♡
テレジア PHAN THI HUONG GIANG

転出

いつまでもお元気で

ドメニコ・サヴィオ 吉村 正行 (五反城教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

5/16 マリア 伊藤 美智子 (78歳)
5/25 橋本 ロルナ ラミレス (52歳)
6/2 テレジア 前田 舘子 (93歳)



2021年6月・7月行事予定表

| | 教会典礼暦 | 南山教会行事 | 各会活動 | 教区行事・その他 |
|----|--|--|--|--|
| 6月 | 聖心の月 6(日)キリストの聖体 11(金)イエスのみ心 24(木)洗者聖ヨハネの誕生 29(火)聖ペトロ・パウロ使徒 | 13(日)典礼奉仕者全体集会延期 20(日)初聖体/子どものミサ 教会学校パーティ中止 27(日)信者全体集会延期 | 4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)運営委員会 13(日)ヨセフ会班長会 13(日)典礼委員会 (全体集会後) 19(土)子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ 【場合によって中止または延期】 | 13(日)松浦司教着座記念日 ()信徒使徒職大会(布池地下) 19(土)レジオマリエ黙想会中止 27(日)聖ペトロ聖座への献金 |
| 7月 | | (日)救急法講習会 | 2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)運営委員会 10(土)典礼委員会 11(日)教会周辺清掃ヨセフ会班長会 17(土)子ども部屋 18(日)教会学校・中高生会終業式 24(土)要約筆記付きミサ | 11(日)城東ブロック会議 17(土)レジオマリエ名古屋クリア |